

ユダヤ キリスト教における一夫多妻制

5.0 [TOP20](#)

明:一夫多妻制の 史と、ユダヤ キリスト教におけるその合法性について。

目:[事代における女性](#)

より: IslamReligion.com

ED4 Oct 2010

集日 04 Oct 2010

一夫多妻制は、イスラ ムだけに限られた 行ではありません。 にはユダヤ教徒、そしてキリスト教徒といった 典の民の 史においても く 知されてきたことなのですが、 世になって初めて彼らの宗教 威により忌避され、公然と禁じられるようになったのです。しかしながら 宗教の 史を辿れば、それは 知だけでなく 励すらされていたことが分かります。

ユダヤ教における一夫多妻制

一夫多妻制は、モ ゼ出 以前から古代イスラエル人たちによって 践され、彼らヘブライ男性によって 婚出来る女性の数は制限すらされてはいませんでした。ジュ イッシュ エンサイクロペディア（ユダヤ百科事典）によると、こうあります：

初期ユダヤ人社会においては一妻多夫が行なわれていた形 はありませんが、一夫多妻制は 立された 行であり、最も をさかのぼることの出来る古代から、比 的近代まで行なわれていたことが分かっています。 [\[1\]](#)

また彼らのその他の一般的 行として、妾の存在が げられます[\[2\]](#)

世に入り、エルサレムのタルム ドは妻への 切な 遇がされるよう、夫の能力に基づいてその数を制限するようになりました。同 一部のラビたちは、男性が四人以上の妻を

娶らないよう忠告しています。ユダヤ教における一夫多妻制は、神ではなくラビたちによって禁じられるようになりました。ラビ ゲルショム ベン ユダは11世、ヨロッパ系ユダヤ教徒（アシュケナジ）に、一夫多妻を禁じ、そしてそれは1000年もの に渡って（1987年まで） したことが されています。一方で、地中海沿岸のユダヤ教徒（スファラディ）は一夫多妻を 践し けました[3]

って、ウィル デュラントによれば、‘一夫多妻は裕福なユダヤ教徒たちによってイスラエルの地において 践されてきたが、キリスト教国に住むユダヤ教徒たちの ではごく稀であった。’ [4]

ハイファ大学の社会 文化人 学教授のジョセフ ギナ トによると、それはイスラエルの18万人のベドウィンたちの では一般的であり、 加しているとのことです。また、イエメンに住むスファラディ ユダヤ人たちの でも常 的であり、ラビたちもユダヤ人たちに4人までの 婚を めています[5]

近代イスラエルにおいては、もしも妻が不妊症だったり、精神病に冒されている 合、ラビたちは夫が第一妻と 婚することなく二人目の妻を娶る 利を与えています[6]

キリスト教における一夫多妻制

地上での任 において 婚をしなかったイエスは、 婚の 行における模 としては不 切です。そうでなければ彼は一夫多妻制を容 したでことでしょう。神父ユ ジ ン ヒルマンは、‘新 どのどこにも 婚が一夫一 であるべきこと、または一夫多妻を禁じることを明 に示す戒律は 当たらない。’ と述べています。[7]

ロマ教会が一夫多妻制を禁じた理由とは、一人の合法的な妻のみを めたギリシャ ロマ文化への遵奉ですが、それにも わらず妾や 春の存在は していたので[8]。

四世 のロマ皇帝ヴァレンティニアヌス1世は、キリスト教徒が二人の妻を娶ることを 可 しました。八世 に教会と国家の 力を得たシャルルマ ニュは、自身一夫多妻を 践し、六人の妻（一部の 威によると九人の妻）を持ちました。[9] *Polygamous Families in Contemporary Society*

の著者ジョセフ ギナ トによれば、カトリック教会はこの 行を嫌 しましたが、政治的指者に しては二人目の妻をしばしば是 していたということ[10]

また アウグスティヌスはそれが本 的に不道 、または罪深いものであるとは なさなかつたとされ、国家の合法的 行だった一夫多妻制は犯罪ではないと宣言しています。[\[11\]](#)
彼は *The Good of Marriage?*^{15?17???}の中で、一夫多妻制についてこう しています：

“それは古代の父祖たちの では合法だったのである。それが 在も合法であるかどうか に し、私はその宣告を急いだりはしない。 在には子供をもうけることに し、 去のように妻たちに妊娠する能力があった でさえも められていたほどの必要性がないからである。 去には子 を やすために 数の妻を娶ることが められていたが、 在では かに 非合法なのである。”

彼は司教たちへの判 を拒否しましたが、一夫多妻の容 性を彼らの 行から推 することは しませんでした。彼は のところで、こう いています：“ に 在の私たちの 代では、ロ マの 行に い、 の妻を娶り、一人以上の妻を持つことは 可されなくなったのである[\[12\]](#)”

プロテスタントによる宗教改革の最中、マルティン ルタ は言いました：“私は 人的に、もしも かが二人かそれ以上の妻を娶りたいと望むのであれば、それは 典に矛盾する 行 ではないため、彼がそうするのを禁じることは出来ないと告白する。”彼はフィリップ1世

(ヘッセン方伯) へ、公なスキャンダルを避けるため、二人目の妻の存在を すよう忠告しました。 [\[13\]](#)

最も 大な英 人の一人で、有名な英国人ピュ リタンでもあるジョン ミルトン (1608 1674) はこう しています：“私は ‘一人の男性には一人の女性’ とは言っていない。そう であれば私は なる 主教と信仰の柱を暗に非 していることになる。アブラハムやその他の者たちは同 に 数の妻を持っていたが、それが罪であることになってしまうからだ。そして神の 所及び彼らによる子 、つまりそれを作ったイスラエルの子 は皆、虚 であるとして除外せざるを得ないことになる。申命 にはこのようにある：不 の子は、その十代目の子 でき、主の集会に加わることはできない。”[\[14\]](#)

また1650年2月14日、ニュルンベルク 会は30年 争によって大 の死者が出たことに み、男性はそれぞれ10人までの女性と 婚が出来ることを めています[\[15\]](#)

アフリカの教会は きに渡り一夫多妻制を 可してきました。彼らは1988年のランベス会
でこのように述べています：“アングリカン コミュニオンでは、アフリカ各地の一夫
多妻、また 的 婚において正真正 忠 さと さのどちらの特色も めることが出来ると 知し
ています。” [16]

ケニヤ大 でキリスト教徒でもあるムワイ キバキは一夫多妻を 践しており、彼の 利は ア
フリカ 老派教会によって ‘神の手’ によるものであると表 されました[17]

また、白人キリスト教徒による支配の ったアパルトヘイト の南アフリカでも、一夫多
妻制が合法化されています。 [18]

末日 徒イエス キリスト教会は、 立初期の米国において一夫多妻を 践していました。教
会がそれを非合法化した も、分派は教会を去り、 践し けて来ました。これらの集 によ
る一夫多妻は今日でもユタ州とその 接州とそのコロニ 、またどの教会 にも属しない 人
によって 践されています。

米国では一夫多妻制は非合法ですが、非公式にはおよそ3万人から8万人の 践者たちが
西部地域に存在しています。一般的にこれらの家族はモルモン教原理主 者、あるいは
一夫多妻制は 典に基づいた 誉あるものとするキリスト教徒 体です[19]

一夫多妻制について する 、イスラ ムとムスリムを名指しで公然と非 する前に、この と
史に して 切な知 が必要とされます。 い 史を通して 知されてきた行 を、 代的 点に基づい
て偏った判断を下すべきではないのです。それは神的 きを求めた上で、しっかりと さ
れるべきなのです。

Footnotes:

[1] “Pilegesh” , Emil G. Hirsch, Schulim Ochser and the Executive Committee of the Editorial Board. The Jewish Encyclopedia. (<http://www.jewishencyclopedia.com/view.jsp?artid=313&letter=P>).

[2] Will Durant, “The Age of Faith: A History of Medieval Civilization -Christian, Islamic, and Judaic - from Constantine to Dante: A.D. 325-1300” (New York: Simon and Schuster, 1950) 380.

[3] Christopher Smith, “Polygamy’ s Practice Stirs Debate in Israel,” Salt Lake Tribune Dec. 7, 2001.

[4] Peggy Fletcher Stack, “Globally, Polygamy Is Commonplace,” The Salt Lake Tribune 20 Sep. 1998.

[5] Polygamy Reconsidered, p. 140.

[6] Ibid., p. 17.

[7] Matilda Joslyn Gage, “Woman, Church And State,” p. 398.

[8] Peggy Fletcher Stack, “Globally, Polygamy Is Commonplace,” The Salt Lake Tribune 20 Sep. 1998.

[9] St. Augustine, lib. ii. *cont. Faust*, ch. xlvii.

[10] St. Augustine, lib. ii. *cont. Faust*, ch. xlvii.

[11] Deferrari, vol. 27: “Saint Augustine - Treatises on Marriage and Other Subjects” (1955), pp. 31, 34, 36, 18.

[12] Matilda Joslyn Gage, “Woman, Church And State,” p. 400.

[13] O. Jensen, *A Genealogical Handbook of German Research* (Rev. Ed., 1980) p. 59

[14] Robin Gill, “Churchgoing and Christian Ethics” (Cambridge, England: Cambridge University Press, 1999) 249,

[15] Sam Gonza, “Churches Celebrate Kenya’ s New President,” Christianity Today Feb 20. 2003.

Marc Lacey, “Polygamy in Kenya an issue after wives of president revealed,” New York Times Dec 19. 2003.

[16]

Aurelia Dyanti, “Two wives better than one for some South Africa men,” The Star July 16, 2003

[17]

Cheryl Wetzstein, “Traditionalists Fear Same-Sex Unions Legitimize Polygamy,” The Washington Times 13 Dec. 2000.

[18]

Cheryl Wetzstein, “Traditionalists Fear Same-Sex Unions Legitimize Polygamy,” The Washington Times 13 Dec. 2000

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/326>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。